

淡路市新設こども園基本構想・基本計画
ワークショップ 第2回

(報告書)

2025年2月8日

《ワークショップ概要》

- ・開催日時 2025年2月8日 10:00～12:00
- ・会場 淡路市津名図書館内 会議室
- ・参加者 17名
(内訳) 保護者 4名(子供3名託児)
保育士 5名 学生1名
子育て支援機関 3名
一般 4名
- ・実施内容 市の概要説明「適正規模での保育環境について」(15分)
子どもにやさしい木の園舎～吉田良一氏～(15分)
グループワーク(50分)
まとめ(10分)
- ・ファシリテーター 株式会社Co Lab共同代表 堀田 誉氏
- ・パネル展示 吉田建築計画事務所(茨城県石岡市)

懇談いただいたテーマ

理想のこども園を具体化する

こども園のイメージを見て・聞いて

- 押しポイント
- 気になるポイント

を挙げていく

1 理想のこども園の推しのポイント

代表的な意見

1. 空間・環境:
 - 園舎のアーチ状の形状により一体感を感じやすい
 - 木造や天然素材の活用によるあたたかみや木陰のある環境
 - 広い園庭で自由に遊べ、樹木もあるので自然を感じやすい
 - ガラス面積も広く、室内に解放感がある
 - 病児保育スペースがある
2. コミュニティ・つながり:
 - 子ども同士のつながりを促進される
 - 他学年との交流がしやすい
 - 保育士の人数に余裕が生まれることで、子どもに目が届く
 - 懇談室があると保護者と保育者の繋がりも深まる
3. 機能性・利便性:
 - 病児保育専用スペースがある
 - 駐車場と玄関の動線がスムーズ
 - 園内の動線がシンプルで迷いにくい
 - 外部からのアクセスのしやすさ

2 理想のこども園の気になるポイント

代表的な意見

1. 防災・安全面：
 - 災害時の避難経路、震災時の木造建築の安全性、高台の立地
 - 防犯対策の強化（施錠や監視）、死角が多くならないか懸念
 - 駐車場から玄関への動線
2. 設計・動線：
 - アーチ型、L字型、方形の施設形状の特徴を理解して造られると良い
 - 玄関と園庭のつながり（靴の脱ぎ履きのしやすさ）
 - 調理室が子供からも見えるように
 - 適正規模の考え方について議論を深めてほしい
3. 音・プライバシー：
 - 屋内外の音への配慮（近隣住民への影響や、屋内で響かない環境）
 - 幼児が使いやすいトイレの配置とプライバシー
 - パニックを起こした幼児へのサポートができるような環境か
4. 地域との関係：
 - 地域の方などが関わるスペース（みんなのひろばの活用など）
 - 交通量や路線バスのアクセスをふまえた立地
5. その他
 - 理想のこども園についての議論をさらに深めた方が良いのではないか

記録写真

自己紹介～市の概要説明～グループワーク



幼児期の子どもたちにとって大切な環境とは？ 淡路市の地域資源を活かした保育について、熱く語り合う場となりました。

ディスカッション・発表・まとめ



イメージ図をもとに、ここが素敵！でも、安全面は？ここは？



互いに出し合った意見を各グループの代表に発表していただきました。



臨時に設置した託児コーナーで遊ぶお子さん。

事後アンケート

アンケート集計

1. 全体の内容について(複数回答有)

良かった 14/14人 思っていたのと違って 1/14人

2. 懇談では十分に話せましたか？

よく話せた 4/14人 話せた 9/14人 あまり話せなかった 1/14人

3. 新設こども園のイメージは具現化されましたか？

具現化できた。楽しみだ 12/14人 その他 2/14人・・・野草舎森の家のように森の中に建ててほしい。園庭が木々と共にあるのが素晴らしい。

4. ワークショップに参加した中での新たな気づきがあれば教えてください(多数回答抜粋)

- ・保育に対する様々な願いを語り合い、それを形にしていく過程はとても大切だと感じました。
- ・既存の園庭のイメージではなく、木々と共にあるのが理想。今までの常識をくつがえせるような園ができてほしい。
- ・現在のところ、理想の園舎が建物から入られていますが、それを核に理想の保育にも触れられたことは良かったと思います。
- ・参加者の方の色々な考えや思いを聞くことができ、みんなが新設園を楽しみにしていることがわかりました。子どもたち、保育教諭、地域の方にとって素敵な園になるといいなと思います。
- ・参加者の意見・疑問点を深める「対話」の時間が少ないと感じた。

(事務局) 前回より10分短い20分間の懇談では、みなさんが多くの意見を出し合っていました。もう少し長く時間をとれたらよかったと反省しました。

5. 参加者との意見交換で更に考えを深めたかったことがあれば教えてください

- ・どういう保育が子どもたちにとって大切か、より根本的な部分をしっかり幅広く対話したい。
- ・実際に保育を進めていただける保育士の先生方からの「理想の保育」を切り口にさらにブラッシュアップ願いたい。子どもたちのワクワクドキドキ、不思議だなとなぜだろうと子ども同士のつながり、人と人との学びを大切にできる保育園をお願いします。
- ・イメージ図にある「みんなの広場」について、島内の子育て世代の共通問題として雨の日でも遊べる場所が無いという点があります。みんなの広場を保育園の関係する方以外でも利用が出来るようになれば、雨の日はもちろん、天気の良い日は土日や平日のお昼間でも孫の子守りをする祖父母世代の方も、これから保育園に入れる子育て世代の方にも親しみやすい場所になるのではと考えました。

12月と2月の2回のワークショップを終えて・・・

- ワークショップの開催は職員全員が初めてでしたが、人と人の出会いが新しいものを生む力になるのだなと実感できる会となりました。
- 子どもたちは未来へつなぐ宝物です。自然豊かな淡路市でどのように子育てをしたいと思っていられるのか、子どもたちにとってどのような教育・保育が大切か。たくさんの声をお聞かせいただきました。
- この基本構想から完成までの道のりを 市民のみなさまとの「対話」を大切にひとつずつ歩いていくことで、地域に愛され笑顔に包まれて子ども達が育っていく。そんな景色が浮かび上がってきました。共に考え、共に創る。これからも、みなさまの貴重なお声をお聞かせください。



ありがとうございました。